

1. 略歴

1997年3月	東京大学文学部行動文化学科社会学専修課程卒業
1997年4月	東京大学大学院人文社会系研究科社会文化研究専攻修士課程入学
1999年3月	同 人文社会系研究科社会文化研究専攻修士課程修了
2001年4月	日本学術振興会特別研究員 (DC2、～2003年3月)
2002年3月	東京大学大学院人文社会系研究科社会文化研究専攻博士課程単位取得退学
2004年4月	札幌学院大学社会情報学部講師
2005年5月	博士 (社会学) 学位取得 (東京大学)
2006年4月	札幌学院大学社会情報学部助教授
2007年4月	信州大学人文学部准教授
2012年4月	東京大学大学院人文社会系研究科准教授
2019年4月	ブリストル大学政策研究院客員研究員 (～2019年9月)

2. 主な研究活動

a 専門分野

コミュニティの社会学、ハウジングの社会学、社会調査史

b 研究課題

- (1) 建造環境と社会構造の関係についての理論的・経験的研究
- (2) 国際的な社会調査史

c 概要と自己評価

(1) 2000年代半ばに日本の住宅政策に導入された「居住支援」の概念を中心に研究を進めた。この概念は、居住保障におけるサービスの重要性を示唆している。そこで、「ベーシックサービス」あるいは「ベーシックアセット」という政策構想において居住がどのように扱われているのかを検討し、共著書、論文、報告書等で成果を発表した。(2) 社会学において経験的な調査の方法が形成される過程で、ハウジングとコミュニティがどのように対象化されてきたかを、長期的な研究課題としている。今期は、1940～50年代のアメリカにおける計画的コミュニティの調査について、とくに戦時期の強制移住に着目して探索を進め、編著のなかで成果を発表した。

d 主要業績

(1) 著書

共著、Judd, B., Tanoue, K. and Liu, E.(eds), Ageing in Place, Edward Elgar, Sukenari, Yasushi, Ageing and the Concept of Fair Housing in the Japanese Context, pp.180-193, 2020.11

共著、上村泰裕・金成垣・米澤旦編、『福祉社会学のフロンティア：福祉国家・社会政策・ケアをめぐる想像力』ミネルヴァ書房、祐成保志「社会政策としての住宅政策・再考」、139-155頁、2021.11

編著、赤川学・祐成保志編、『社会の読解力 (歴史編)』、新曜社、祐成保志、「コミュニティを統治する」、177-200頁、2022.3

(2) 論文

祐成保志、「居場所を支える多様なアセット」、『DIO：連合総研レポート』、連合総合生活開発研究所、34(9)、14-18頁、2021.9

祐成保志、「変化に抗する都市」、『建築雑誌』、日本建築学会、1756、9-10頁、2021.12

(3) 学会発表

国内、祐成保志、「移民の社会的統合に向けた課題」、2020年度日本不動産学会シンポジウム「国際化に対応した不動産政策」、オンライン、2020.9.16

国内、祐成保志、「討論者からのコメント」、第73回早稲田社会学会シンポジウム「東日本大震災後10年間の被災地、住民と社会学」、オンライン、2021.7.3

(4) その他

インタビュー、古橋広樹・祐成保志、「多文化共生都市・浜松市の取り組み」、『都市住宅学』、都市住宅学会、110、45-50頁、2020.7

シンポジウム記録、阿部治子・井出多加子、祐成保志、藤井さやか、板垣勝彦、「国際化に対応した不動産政策」、『日本不動産学会誌』、日本不動産学会、34(3)、4-19頁、2020.12

座談会、祐成保志・山道拓人・千葉元生・西川日満里、「インフォーマルな場のつくり方」、『新建築』、新建築社、96(2)、37-41頁、2021.2

シンポジウム記録、祐成保志、「まちづくりの重層的な文脈」、『関東都市学会年報』、関東都市学会、22、6-8頁、2021.3

書評、大谷信介著『都市居住の社会学』、『地域社会学年報』、地域社会学会、33、77-78頁、2021.6

シンポジウム記録、祐成保志、「復興過程における居住の社会学的研究の課題」、『社会学年誌』、早稲田社会学会、63、61-65頁、2022.3

報告書、祐成保志、「対話記録(3)」、『「居住支援の相談体制の充実に向けた調査研究」地方公共団体における福祉部局・住宅部局の連携による住まいに関するモデル事業報告書』、大牟田市、98-107頁、2022.3

報告書、「イギリスのハウジングマネジメント」「住宅政策から居住保障政策へ」、『「包括的居住支援の確立に向けた調査及び研究」2021年度報告書』、全国居住支援法人協議会、50-54・87-96頁、2022.3

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

非常勤講師、日本女子大学大学院家政学研究科、「住居学特論Ⅲ」、2020.10～2021.3

非常勤講師、中央大学法学部、「社会学1・2」、2021.4～2022.3

非常勤講師、早稲田大学教育学部、「公共市民学研究(社会調査)」、2021.4～2021.9

(2) 学会

国内、日本生活学会、編集委員、2014～

国内、日本社会学会、『社会学評論』編集委員、2021～

国内、日本生活学会、理事、2016～

国内、都市住宅学会、編集委員、2018～、理事、2020～